

第510回 放送番組審議会

1. 日 時 2015年7月21日(火) 午後1時30分～

2. 開催場所 テレビ岩手 6階大会議室

3. 委員総数 9名

出席委員 7名

委員長	平 英一
副委員長	國分 正人
委員	千葉 隆史
委員	嶋 誠治
委員	小川口 寛
委員	恒川 かおり
委員	山口 博弥

欠席委員 2名

委員	五日市知香
委員	三浦 茂樹

社側出席者

檜崎 憲二	(代表取締役社長)
山口 英二	(専務取締役)
関 英祐	(報道制作局局長)
野田 喜代志	(報道制作局専任局長)

事務局

遠藤 隆	(編成局長)
小野 絢子	(編成局編成部)

4. 議 題

1. 「5きげんテレビ 5きげんキャラバン in 岩泉」
2015年6月12日(金)16:25-17:53
2. その他

5. 資 料 (資料として以下のものを配布)

- ・ 視聴者からのご意見

6. 意 見

委員側意見

- 岩泉町の情報を多岐にわたって紹介していてよかった。
- 地元に密着していて、生活の役に立つ番組。
- 空から撮影した映像が新鮮で、美しかった。
- 著名なタレントが出演していてよかった。
- 料理を作るコーナーの試食の時間配分が少ないように感じた。
- レシピや、施設の情報など、説明が足りないと感じる箇所があった。

局側

- 時間配分に気を付けて構成を考えていきたい。
- 著名なタレントが岩手の商品を好んでいるという情報が、地元の活性化につながるかと考えた。

7月番組審議会 (今回) のテレビ放送予定

- ◆ 7月28日 (火) 11:45-11:52 「あなたと歩むテレビ岩手」

7. 議 事 内 容

局側 第510回テレビ岩手番組審議会を開会します。本日は委員2人が欠席で、7人の委員がご出席です。番組についてご説明します。

局側 19年目に入った5きげんテレビだが、局外に出て地域の人たちと交流すべきではないかという考えでキャラバンを始めた。その際は、地元のネタだけで内容を構成する。地域の皆さんと触れ合う貴重な機会なので、スタッフも楽しみにしている。今回の場所、岩泉町はキャラバンを行うのは初めての場所。食材の宝庫で、海も山もある。ディレクターも工夫した。今年の3月からメインキャスターになった岩瀬アナウンサーについても、気づいた点を教えていただければありがたい。

委員長 ご意見をお願いします。

委員 「5きげんテレビ」のような地元密着型の情報番組を見たことが無かった。いざ岩手県に赴任してみると、とても役に立つ。食と観光という点をきちんと取り上げている。通勤族の視聴者と、地元で長く住んでいる視聴者と、それぞれに合わせて情報を出すのが難しい点なのかもしれないと思った。1番面白いと思ったのは、「岩泉乳業」。ヨーグルトの発酵の手法について初めて知った。「地域の牛乳を地元で使い切るようにしたい」という考えなど、この企業の地域への愛情を感じた。逆に「龍泉洞」については、物足りなかった。ガイドの方の話す情報などもっと紹介してもいいと思った。ドローンを使った空からの映像は、非常にわかりやすくてよかった。疑問点は、タブレット純の起用の頻度の高さについて。なぜ多用するのか知りたい。料理コーナーは、あれだけの料理を作ったのに、試食の時間が短くてわかりづらかった。それぞれの料理に対する感想が出てくると作った人たちも喜んだと思う。BGMについては、昔の洋楽が好きな世代としては好感が持てる選曲。八重樫真さんの起用については説明が少なくてわからなかった。せめて肩書き等を紹介するとよいのではないかと思った。全体的には内容が盛りだくさんで、岩泉町の良さが伝わった。

委員 ドローンを使った上から全体を映した映像が良かったと思う。岩泉町の良さが伝わった。FAXで視聴者の意見を募るコーナーも楽しさがあつた。主婦層や学校帰りの子供たち、お年寄りが、自宅や病院の待合室などで見る番組だと思うので、豊かな気持ちになれる時間が貴重だと思った。タブレット純は好きなタレントなので、嬉しかったが、起用の理由も知りたい。岩泉乳業からの中継や、地元の方が出演している点が、地元との触れ合いを大事にしていることが伝わってきた。岩泉乳業のビジョンにも共感した。雨という天候のため、仕方がないかもしれないが、アナウンサーの声が所々切れるのが気になった。視聴者プレゼントのコーナーだが、気になったのはアシスタントの方に笑顔がないこと。残念に思った。ニュースや占いのコ

コーナーがあるのも楽しいと思った。岩泉町長が出演している点で、地元の魅力を発信したい気持ちがわかった。それに対するアナウンサーの感じも良かった。

委員 すごく盛りだくさんで、切り替えが早かったので、もう少し絞ってもいいと思ってみた。タブレット純は知らなかった。鉄神ガンライザーが出演していたが、役割がよくわからなかった。口頭で中継場所の説明をしていたが、位置関係の地図があれば、もっとイメージしやすかったと思う。また、「ブルートレイン日本海」の宿泊料を紹介していたが、1車両としての値段なのか、1人当たりの値段なのか、説明が足りないと思った。料理コーナーで金賞と紹介していたが、説明がないとわからなかったと思う。また生放送ではあるが、レシピを紹介できれば作りたと思うのでは。八重樫真さんについても、説明が欲しかった。龍泉洞は生中継だと迫力がある場所だと思う。VTR 紹介で残念だった。岩泉ヨーグルトを AKB48 の小嶋陽菜に届けたことはすごいことだと思うが、映像が暗くて残念だった。料理コーナーはせっかく何品も作ったので、感想を聞きたかった。食材の生産方法などの紹介もあればよかったと思う。

委員 岩泉町を広く紹介している番組で、楽しく見た。食材の宝庫と言われている岩泉町なので、料理コーナーで魚関係もあればよかった。せっかく船でのロケもあったので。ほかにドングリも特産品だと思うので、盛り込めれば深みが出たのではないかなと思う。岩泉乳業のヨーグルトを紹介しているのはよかったが、メイン商品であろう袋詰めのものではなく、カップのものを AKB48 に届けていた。味が違うと思うので、せっかくだったら袋詰めのほうを紹介したほうが良さが伝わったと思う。ほかに、CM に入る前に「次は〇〇を紹介します」と予告しておいて、CM が終わった直後は全く違う内容を扱うことに違和感がある。番組の作り方の常識なのか。内容を盛りだくさんで紹介して、最後に町長がまとめた構成はよかったと思う。町長のキャラクターを生かしていたと思った。岩泉町の地元の人も喜んだのではないかな。

委員 すごく良い企画だと思う。岩泉町のプロローグ的な紹介も、キャラバンが初めてということで、転勤で岩手に来た人や地元の人にも広く浅く伝えていたのはよかった。キャラバンを何度も見ているが、聴衆が少ないことを残念に思う。子供たちや地元の人たちが映っていると明るくなって良い。ドローンの映像は新鮮でよかった。中継の場所柄、木々の緑などもきれいで、すごく新鮮に感じた。岩泉乳業の話は、番組で製法を初めて知って、自分でもスーパーで買って食べてみた。テレビの影響を感じた。5きげんテレビは、平井アナウンサーから岩瀬キャスターにうまく移行した。岩瀬アナも番組に馴染んでいると思う。番組内でも、出演していた岩泉町の人のお話を優しくフォローしていて、優しい人柄がうかがえた。毎日1時間以上の生放送は大変だと思うが、視聴者の役に立つ、安心して見られる番組だと思う。テレビ岩手の地域密着を実践している番組。子育て支援や高齢者支援など、すごくいい番組だと思う。少しずつ形を変えながらでも長く続けてほしい。番組の途中で

天気情報や、ニュースを伝えているが、ニュースの放送回数を増やしたり、時間を長くしてもよいかと思う。総合的な情報番組になるとよいのではないかと思った。また、岩泉町の宿泊施設「ブルートレイン日本海」を扱っていたが、ほかにもコテージなどの宿泊費や、競技場の使用料なども紹介されると、色々な人が行きやすくなると思う。

委員 岩泉町の情報がてんこ盛りで、地域に密着したいい企画だったと思う。地元局ならではのもの。情報の繰り返しや、細切れが多いと思ったが、これは番組を途中から見始めたりする人を想定して考えたものだったと思った。若干の粗さは見えたが、丁寧に取り上げていてよかった。ドローンについては、最初はクレーンなのかとも思った。最初からマルチコプターを紹介してくれたら、「こういう取り方をするのか」と分かってよかったと思う。岩泉乳業の企画は時間を割いて、どういった思いで仕事に取り組んでいるのか、よく伝わった。AKB48にヨーグルトを食べてもらったシーンは、全国で放送できたら商品もすごく売れるだろうと思う。ただ見慣れない商品名も出ていたので、もう少し説明すればよいかと思った。出演した人たちは、町長をはじめ、よどみなく話していて感心した。鉄神ガンライザーについては、確かに明確な役割はなかったが、アクセントになってよかったかとも思った。番組内でニュースの予告をしたりと、番組作りが上手い。チャンネルを変えさせない工夫がなされていた。

委員長 普段見ることのない時間帯の番組なので、興味を持って見た。一番感じたのは、番組のスピードが、お茶の間に合わせたものだという点。主婦やお年寄りなどに合わせている。ただ、途中で出てくる冗談などは視聴者層に合っているのか心配になった。ヨーグルトについては、AKB48に食べてもらうヨーグルトが、番組内で紹介していた袋詰めのものではなく、カップだったのが気になった。また、おいさを表す表現も乏しいと思った。「おいしい」だけではなく「健康に良い」「腸内を整える」など、もう少し深みのある表現まで踏み込んだほうが良いと思う。AKB48が出演したところはよいと思ったが、わざわざ東京に行ってAKB48に食べさせる意味は何だったのかわからなかった。どういう視聴者層を狙って取材したのか聞きたい。普通の滑り台を紹介していた部分で、「楽しい」と表現されても疑問を感じた。自虐的な意味合いなのであれば、5きげんテレビには合わないと感じた。色々なコーナーがあって目先が変わるのはよいかと思ったが、料理コーナーが何度も出てきたことについて、「見ながら一緒に作っている視聴者に合わせたもの」なのか、「おいしいものが徐々に出来上がっていくのを見せたいから」なのか、趣旨が知りたい。一緒に作ってもらうことを想定しているのであればレシピを出したほうがよいと思うし、料理を見せたいのであればみんなでおいしく試食する場面をもっと映せばよいと感じた。とはいえ、「5きげんテレビ」は楽しくよい番組だと思う。

局側 試食の場面は、実は時間調整の意味もある。ただ、今回は料理の品数もあったので、

もっと時間を割いてもよかったかもしれない。時間というものの取り扱いを大事にしていきたい。情報の深さの程度については、色々な視聴者がいる分、難しさがある。岩泉乳業のヨーグルトについては、袋詰めの商品よりカップのほうが中継や・取材の際に扱いやすいという利点があったため、選んだ。丁寧に説明すれば、見ていて感じる違和感は防げたかと思う。AKB48に取材した理由は、もともとメンバーが岩泉ヨーグルトを好きだという情報があったため。申し込んでみたら取材することができた。著名なタレントが好きだと言ってくれる商品があることが、地元の活性化にもつながるか考えた。タブレット純については、1回の取材で終わってしまうともったいないので、岩手に来た際に複数のロケをしてもらった。今回はタイミングが岩泉キャラバンに合っていたため、キャラバン絡みの取材に行ってもらった。CM前の予告と、CM明けの企画の内容が違うことについては、テレビの悪い癖かと思う。今後の参考にする。